

# 平成26年度 救急業務のあり方に関する検討会 第1回資料

～救急統計から見られる「予防救急」の重要性～

平成26年7月16日(水)

消防庁

# 救急統計から見られる 「予防救急」の重要性



大阪市消防局 救急部救急課  
救急施策担当課長代理 林田純人

# 予防救急の始まり

平成20年度～平成23年度 消防防災科学技術推進制度



## 総務省消防庁の研究助成から

- 大阪市消防局
- 京都大学
- 大阪大学
- 近畿大学
- (財)消防科学総合センター

共同研究者

平出 敦 1) 石見 拓 1) 西内 辰也 2)

梶野健太郎 3) 北村 哲久 1)

入澤 太郎 4) 酒井 智彦 4) 西山 知佳 1)

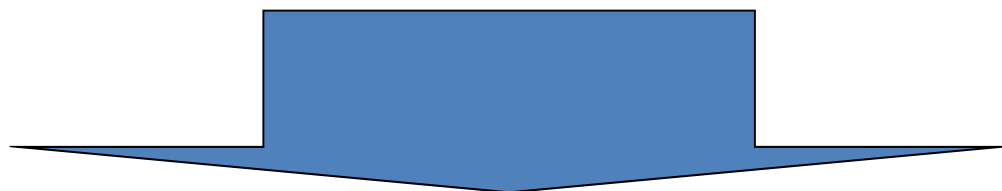
谷川 佳世 1)

1)京都大学 2)泉州救命センター 3)大阪警察病院

4)大阪大学医学部高度救命センター

# 救える命・救えない命

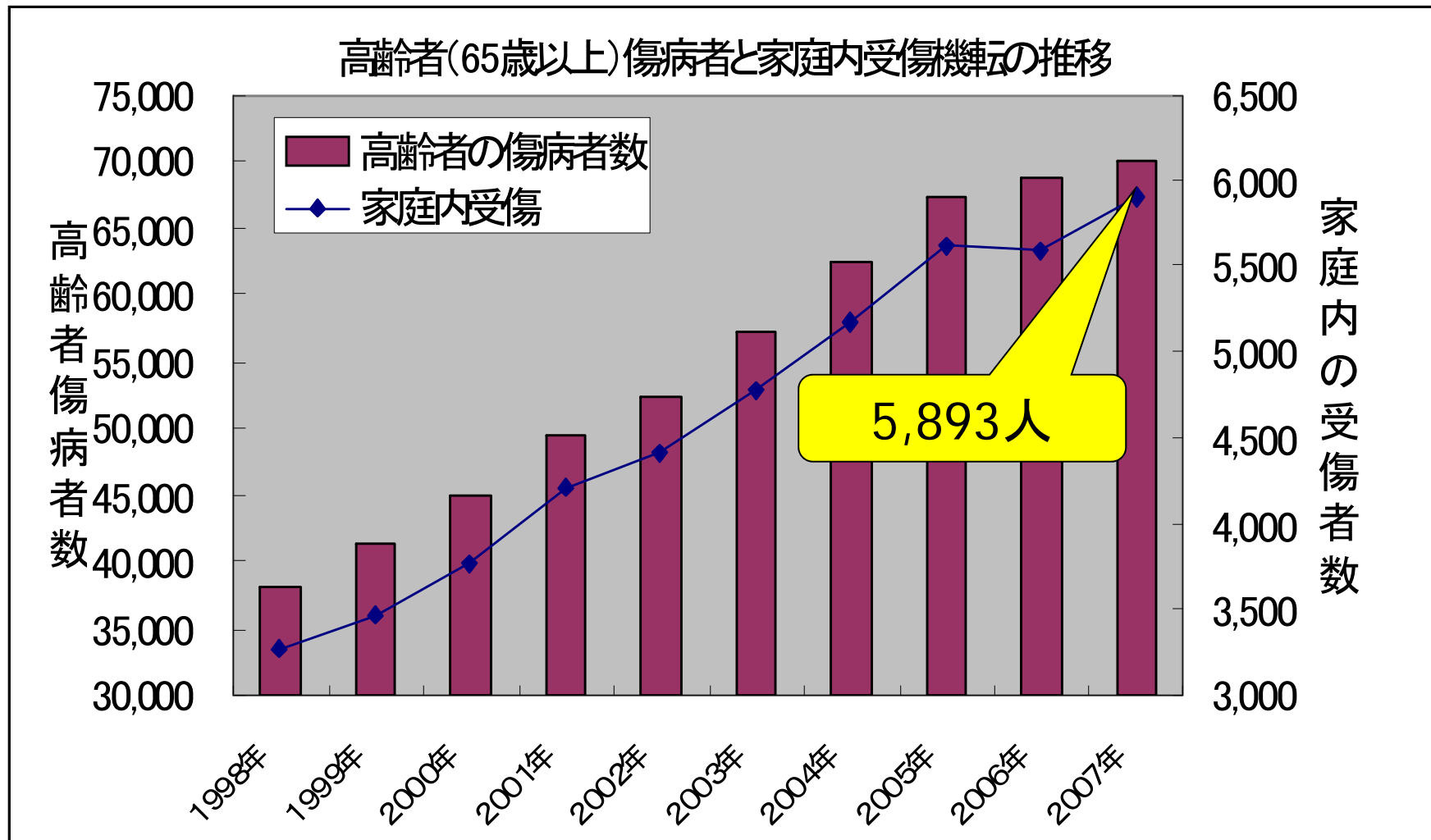
- 救命士や医療従事者が高度な処置を施しても救命できない事故を分析し、減少させることで「**救命率の向上**」を目指す。



そこで 救急隊の救急活動記録と  
蘇生統計(ウツタイン統計)を結合し

**高齢者(65歳以上)の家庭内での事故を分析**

# 高齢者(65歳以上)の家庭内事故



平成10年1月～平成19年12月(大阪市救急活動記録から)

高齢者事故は搬送人員とともに増加



# 高齢者の家庭内事故



転倒事故	軽症	中等症	重症・死亡	その他 (不詳等)	計
				10年計	

溺水事故	軽症	中等症	重症・死亡	その他 (不詳等)	計
			10年計	5 1.70%	

平成10年1月～平成19年12月(大阪市救急活動記録から)

- 家庭内溺水事故の重症以上は88%以上

# 高齢者の家庭内溺水事故



	CPR対象者(高齢者)	溺水(家庭内)	1カ月予後(生存率)
10年計	12,268	244	0
		2.0%	0.0%

平成10年6月～平成19年12月(ウツタイン統計・大阪市救急活動記録から)

- **高齢者の家庭内溺水の生存率は「0%」**  
**救命できない事故の象徴**

# 高齢者の家庭内窒息事故は



	CPR対象者	CPR対象高齢者(65歳以上)
10年計	19,674	12,268
		62.4%

外因性	窒息事案
1,775	730
	41.1%

家庭内	1か月予後生存
500	72
	14.4%

平成10年6月～平成19年12月(ウツタイン統計・大阪市救急活動記録から)

**高い生存率**



平成22年度より  
予防救急というキーワードで  
各種広報を実施。

初年度は、  
予算がかからないように  
デザイン専門学校に出向き、  
夏休みの宿題として学生に  
課題を与え、  
ポスターやチラシを作成した。

机上  
配布



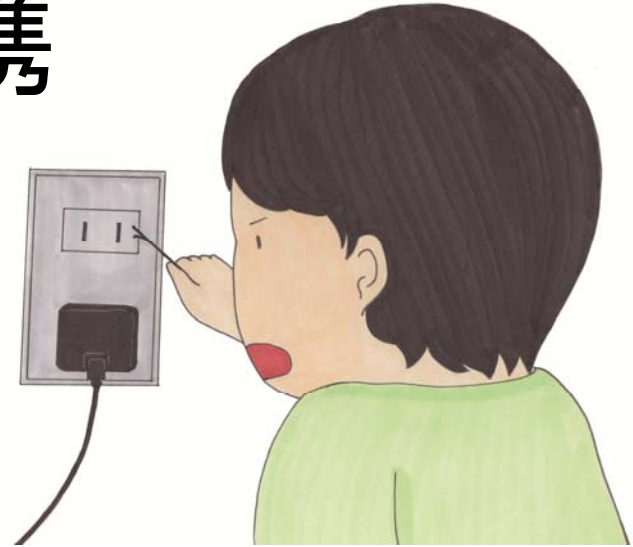
転ばぬ先の杖を  
家ではどうしてつかないの

予防救急って？  
身の危険は、何も外ばかりで起きるわけではありません。むしろ慣れ親しんで  
いる家の中でこそ、予期せぬ事故が起きやすいのです。  
お年寄りや、小さいお子さんに特に多いのが「食べ物などの誤えんや墜落」  
「スリッパ、つまづきなどによる転倒」「浴槽内での溺水」です。  
どれも命に関わるとても危険な事故です。これらは自分自身の日頃の心遣え  
と家族の気配りによって、防止することができます。  
それら「未然に事故を防ぐ心の持ち方」こそが予防救急なのです。事故が起き  
ないようにする守り方を意識してください。

 大阪市消防局  
06-6744-1111 消防センター 119番通報

# 専門学校と連携

- イラストの無償提供  
(Web用データ)



地域の回覧板や  
ホームページなどで使用

# 大阪市「救急の日」ポスター（H23年）

転倒



## 覚えておきましょう! 予防救急。



誰にでも大切な人がいます。その大切な人を守るのは、  
日常の小さな心がけから始まります。  
事故を起こさない環境づくり、予防救急。  
あなたの小さな気配りで救える命があります。

詳しくはホームページをご覧ください。  
<http://www.city.osaka.lg.jp/shobo/index.html>



溺水



やけど

大阪市消防局



ダウンロード型携帯アプリ  
家庭の救急ノート

携帯電話にダウンロードしておくと、突然目の前で人が倒れた場合などにその場で応急手当の方法が確認できるなど、救命に役立てていただけます。



病气やケガ 迷ったらまずここへ

大阪市救急安心センター

24 365  
時間 日体制

平成21年10月1日より市民からの救急医療相談を「相談員」「看護師」「医師」が24時間受付します。

☎ #7119 または 6582-7119

# 大阪市「救急の日」ポスター（H24年）

**それが『予防救急』**

**家庭内事故を防ごう**

救急安心センターおおさか  
平成21年10月1日より市域の6区に救急センターを  
「救急」「救急車」の24時間受付します。

**24** 時間  
**365** 日受付

☎ #7119 おかけください 06-6582-7119

大阪府消防庁 大阪府消防本部 大阪府消防協会  
大阪府消防協会 大阪府消防協会 大阪府消防協会

**大阪市消防局**  
<http://www.city.osaka.lg.jp/ohoho/index.html>

# 学会地方会において 全国で初めての 乳幼児の予防救急

日本小児外科学会が主催で  
「市民公開講座」を

- ・大阪市消防局
- ・大阪市こども青少年局
- ・大阪市立総合医療センター
- ・大阪市大医学部などと

## 第48回日本小児外科学会近畿地方会 市民公開講座

### 子供を守ろう！

### ～家の中には危険がいっぱい～



#### 第1部：講演会

1. 救急データから見る子供のけが  
林田純人 大阪市消防局
2. 思いがけないこどもの事故の実例  
石川順一 大阪市立総合医療センター  
救急救急センター・小児救急科
3. 子どもの事故を予防しよう！  
～保健の立場でポピュレーションアプローチ～  
新平真博 大阪市こども青少年局 保健監
4. 誤嚥、誤飲…事故が起こってからの治療は大変  
米倉竹夫 近畿大学医学部 産科病棟 小児外科  
日本小児外科学会 小児救急検討委員会 委員長
5. 市大医学生と学ぶ乳児心臓蘇生法  
栗田翠子 大阪市立大学医学部小児科医学生

参加無料

第2部：乳幼児の1次救命の体験 15時～ \*事前にお申込み下さい。  
大阪市立大学医学部学生との協働による乳幼児の1次救命の体験をしていただきます！

平成24年8月26日(日) 14時～16時  
大阪市立阿倍野市民学習センター  
講堂(阿倍野ベルタ内)



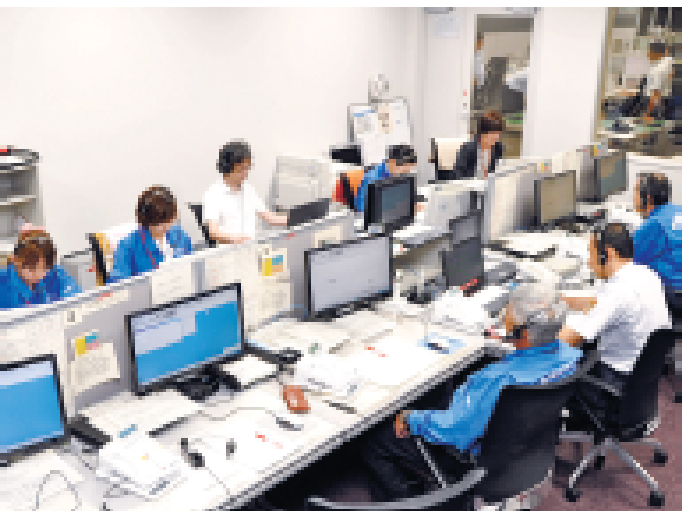
#### 託児所・救命体験の申込み・問い合わせ先

第48回日本小児外科学会近畿地方会  
市民公開講座事務局(代表 猪野麻樹)  
〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3  
TEL 06-6645-3841  
アドレス [kids@med.osaka-cu.ac.jp](mailto:kids@med.osaka-cu.ac.jp)  
HP <http://www.jsps.gr.jp/public/index.htm>

託児所・救命体験  
申込み締切日 7月31日

主催：日本小児外科学会近畿地方会 共催：日本小児外科学会小児救急検討委員会  
後援：大阪市 助成：財団法人日本あんしん社会財団

# 重要性増す「予防救急」



緊急時、判断に迷う市民らの電話に24時間対応する救急安心センターおおさか

大阪市では、60隊（台）約600人の救急隊員が365日24時間、市民の命を守る。平成23年の救急車出動は過去最高の約21万件。14年比では約1・2倍で高齢化が大きな要因とされる。65歳以上の割合では、約半数が家庭内で発生し、転倒・転落が全体の80%。救急車を必要とするけがなど事前に防ぐ「予防救急」が大切になってきた。

大阪市消防局の林田純人消防司令は「量に置かれた新聞紙やチラシを無意識に踏むとよく滑り転倒する。大腿骨骨折など重大な事故になり、生活の質（QOL）が低下します。本人や家族のちょっとした注意で防びます」と訴える。

21年にスタートした救急安心センターは、予防救急の一つだ。センターは緊急時、判断に迷う市民らの電話に、応急手当指導員の資格を持つ相談員や看護師、医師が適切な助言を行う。

症状によっては医療機関の案内を行い、救急車を出動させることができる。23年は約23万8千件（1日平均650件）の相談が寄せられた。現在、大阪市を含む府内全域の市町村と共同運営する。

林田司令は「迷ったら、まず119に電話してねえか」。また、傷病者をよく観察し、声をかけても返事がない場合などは躊躇せず119番です」と話す。

一方、救急患者を受け入れる多根総合病院（大阪市西区）は、救急救命センターなどの3次救急医療機関がない大阪市西部ブロック（福島、此花、西、港、大正、西淀川の各区）で、2次救急医療機関の中核的な存在だ。同病院は23年度に1万6041人（救急搬送5612人、救急外来1万429人）の救急患者を受け入れた。救急搬送の患者のうち58・9%が治療後帰宅、重症入院は23・1%、一般病棟入院は17・7%、死亡は0・3%だった。

救急科の安部嘉男部長は「短時間であらゆる病態を診断し、治療するのが救急科です。『急に救う』のではなく、命を守ったり、手足が動けるように『急を救う』ことです」と強調。また、救急隊員が行う応急処置を医師が検証し、指導することで救急活動の質を向上する病院前救護体制の充実にも力を注ぐ。

タイム・イス・ブレイク（時は脳なり）だ。脳卒中など時間の損失が脳機能を失う恐れもある。安部部長は「（脳卒中は）普段、感じることはない手足のしびれや話しにくいなどの兆候があります。何かおかしいと思ったら様子を見ず、すぐに救急病院に来てほしい」と語りかけた。

# 応急手当短時間講習普及促進研究事業 (総務省消防庁 H24年)

- ボーイスカウト大阪連盟と協力し、青少年への普及を目指し  
「ボジョレーに教わる救命ノート」が誕生 (平成24年4月～10月)

## 救命処置 スマホで体験

心臓マッサージなど救命動作を学ぶことができる体験型のスマートフォン(高性能携帯電話)向けソフト開発を手掛けている大阪市消防局は14日から、実証実験を開始した。使用者の声を反映させ、今秋には完成させたいという。

このソフトは、「道で人が倒れている」という状況を設定。救急隊が到着するまでの間、ソフトの使用者が、心臓マッサージや人工呼吸、AED(自動体外式除細動器)などの処置を画面上で体験する。

使用者のそれぞれの動作について「心臓マッサージのテンポが速すぎる」などの評価が表示される。その評価から使用者が学ぶことで、救命の技術について正しい知識を得る。

この日から4日間の予定で大阪府和泉市内で行われた実証実験は、ボーイスカウトの中学生らが協力。スマートフォンで体験した大阪市中央区の大野彩香さん(13)は「面白く夢中になった。心臓を押すリズムがつか

道に人が倒れている設定「心臓マッサージ テンポ速すぎる」など表示

大阪市消防局がソフト開発中

救命動作を学ぶ体験型ソフトに挑戦する子供ら=14日、大阪府和泉市

かめたとと思う」。

大阪市消防局救急課の林田純人係長は「スマホでいつでもどこでも手軽に経験できることを狙った。若い人に関心をもってほしい」と話している。

同局では、今回の実証実験の参加者の声を反映させるなどし、10月上旬の完成を目指している。完成版は専用ホームページで無料でダウンロードできるようにする計画という。



- ボジョレーによる「予防救急」の普及啓発開始



# ボジョレーに教わる「救命ノート」に 予防救急をアニメで紹介



たたかう！  
救急アニメ  
**救え！ボジョレー！！**

じぶんも子犬になってボジョレーの友だちでアニメに登場！  
キャンプセーブ・ア・ライフを冒険だ！テストもあるよ



**CAMP  
SAVE A LIFE** ~胸骨圧迫やAEDの使い方  
キャンプセーブ・ア・ライフ (心肺蘇生)について学ぶ

テストにチャレンジ！

**救命テスト** 

予防救急と応急手当をアニメでわかりやすく解説



**予防救急と応急手当**



**予防救急と応急手当**

家庭内転倒・転落

**家庭内転倒・転落**  
家の中は危険がいっぱい！



※アプリをインストールするときのご注意※

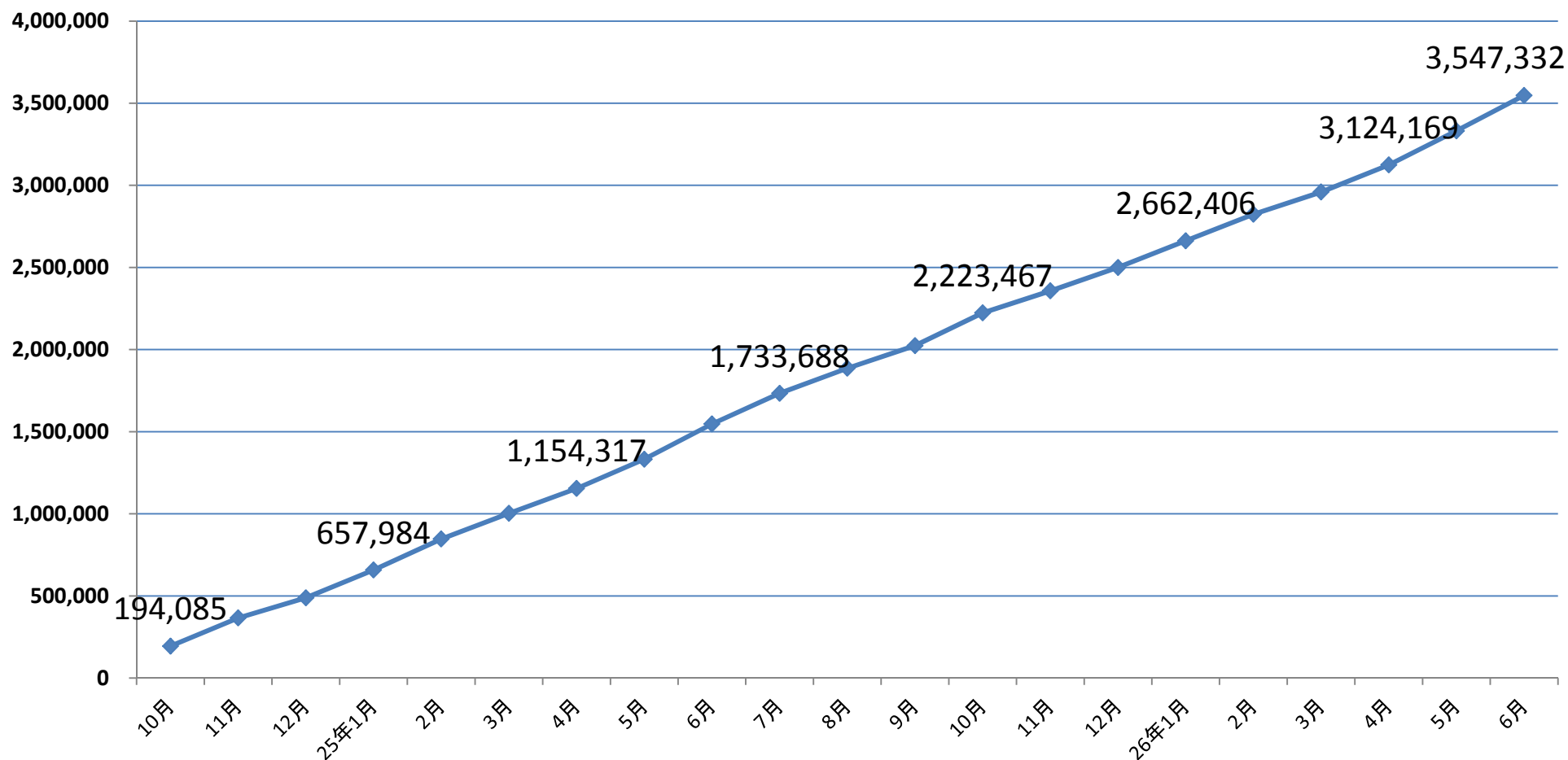
**救命ノート** 指導者用アプリ

iPad、Windows  
アプリとマ

救命処置を指導するための  
を用意しています。  
込みが必要です。  
用頂けません。



# 119aed.jpのアクセス数(推移)



H26年6月末で**354万7332件**のアクセス  
(1年8カ月      1カ月平均16万8921件)

# ターポリンポスター（掲示布）

大阪府消防局  
OSAKA METROPOLITAN FIRE DEPARTMENT

## 予防救急のススメ

少しの注意と心がけで、ケガをしたり病気になるないように、予防救急をススメましょう！

**もちなどのど詰め**

もちなどによる窒息に注意!!

あわてずに  
よくかんで食べる

うぐっ

一度にたくさんの量を  
口に入れない

小さく切って食べる

しゃべりながら食べない

あのお、それど..

他にもこんなもので...

パン こんにゃく  
刺身 肉

こんなときは119番!!  
・意識がない  
・呼吸が苦しそう

予防救急  
救急ノート [www.119aed.jp](http://www.119aed.jp)



# 予防救急のチラシや冊子を作成

## 予防救急のススメ

### 家庭内から救急事故を撲滅しよう!!

大阪市内で発生した救急事故のうち、その半数が家庭内で起こっています。これらの事故は、「ちょっと注意していれば・・・」「日頃から備えていれば・・・」防げるものもたくさんあります。“未然に事故を防ぐ心”それが予防救急なのです。

#### 餅の喉詰り



あわてずによく噛んで食べましょう  
小さく切って食べましょう

#### 転倒事故



部屋の中は整理整頓、コード類は人の通行する経路を避けましょう

#### 食中毒

食品の保存温度を守り、調理してからはできるだけ早く食べましょう



こまめに手洗いをし、調理器具などは清潔にしましょう

#### 熱中症



塩分を含んだスポーツドリンクなどを補給し、涼しい所で体を冷やしましょう

表

#### インフルエンザ

こまめに手洗いがいをしましょう



#### 転落事故

滑り止め、手すりをつけましょう  
階段の付近は明るくしましょう



#### 電気ポット熱傷

電気コードに足をひっかけないように注意しましょう



#### 浴槽内の溺水

フーツとなれば栓を抜いて助けを求めましょう



平成24年中に家庭内で〇〇件の救急事故が発生しています。これは、全体の救急件数〇〇件の約5割に相当します。すべてが防げる事故ではありませんが、多くは防ぐことができた事故ではないでしょうか？  
それでも、事故が起こってしまったら・・・  
病院に行ったほうがいいのか？救急車を呼んだほうがいいのか？  
迷ったときは『救急安心センターおおさか』まで電話してください  
電話番号 #7119 または 06-6582-7119 です



少しの注意と心がけ  
知って備える  
**予防救急**

裏

# 予防救急カレンダー(25年)

府内全域で配布

大阪府健康医療部  
保健医療室  
医療対策課  
と共同で作成

消防署でも  
各区の医師会などと連携し  
各種イベントで  
**「大好評」**

あ、

部屋の中は整理整頓

できるだけ段差が  
少ないようにしましょう

**家庭内転倒**

わっ

こんなときは119番へ!!

- ・意識がない
- ・足が動かない

コード類は人の通行する経路を避けましょう

日	月	火	水	木	金	土	
10		1	2	3	4	5	
OCTOBER							
平成25年 2013年	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		

大阪府健康医療部  
保健医療室  
医療対策課

近頃の病院を知りたい!  
大阪府救急医療情報センター  
TEL 06(6761)1199  
24時間いつでも

突然の病気やケガの医療相談  
救急安心センター-おおさか  
TEL # 7119  
または 06(6582)7119  
24時間いつでも

子どもの急病時の医療相談  
小児救急電話相談  
TEL # 8000  
または 06(6765)3650  
20時から翌朝8時

まもろう! 救急医療

# 予防救急カレンダー(26年)

日頃から運動などで体力を付けておきましょう

あやしいと思ったら、塩分を含んだスポーツドリンクなどを補給し、涼しい所で体を冷やしましょう

エアコンを切った車内に一人で待たせないようにしましょう

こまめに水分・塩分をしっかりと補給しましょう

室内では我慢せず、エアコンなどで適温に

**熱中症**

こんなときは**119番!!**

- ・意識がおかしい
- ・ぐったりとしている
- ・水も飲めない場合
- ・立てない場合

**急激な温度変化は危険です!!**

できれば更衣室だけでなく浴室も温かくしておきましょう

長湯、熱湯は避け、半身浴程度の湯の量にしましょう

フーッとなればせんを抜いて助けを求めましょう

時々家族の方が声をかけましょう

**浴槽での溺水**

体調が万全でないときは、入浴を避けましょう

飲酒後の入浴は控えましょう

こんなときは**119番!!**

- ・おぼれている
- ・意識がない
- ・呼吸がない

入浴前後に水分補給、血圧のチェックをしましょう

6							8						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
29	30						29	30					

**7** 2014 平成26年  
JULY

大阪市消防局  
平成24年データ  
「熱中症」で救急搬送された人  
総数 764人 うち、65歳以上 296人  
全体の38.7%

日	月	火	水	木	金	土
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

救急車を呼ぶかどうか迷っている 24時間いつでも  
**救急安心センターおおさか** #7119 または 06-6582-7119

大阪の救急医療を申したい! 24時間いつでも  
**大阪府救急医療情報センター** 06-6893-1199

子どもの急な病気をどうしよう? 20時~翌朝8時  
**小児救急電話相談** #8000 または 06-6765-3650

11							2014 1						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
29	30						29	30	31				

**12** 2014 平成26年  
DECEMBER

大阪市消防局  
平成24年データ  
「浴槽での溺水」で救急搬送された人  
総数 39人 うち、65歳以上 33人  
全体の84.6%

日	月	火	水	木	金	土
30	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

救急車を呼ぶかどうか迷っている 24時間いつでも  
**救急安心センターおおさか** #7119 または 06-6582-7119

大阪の救急医療を申したい! 24時間いつでも  
**大阪府救急医療情報センター** 06-6893-1199

子どもの急な病気をどうしよう? 20時~翌朝8時  
**小児救急電話相談** #8000 または 06-6765-3650

# メディアの活用



NHKぐるっと関西おひるまえ  
家庭な事故を予防しよう！  
(H23年9月5日 11:30～)



NHK「おはよう関西」  
ボジョレーの予防救急  
(H25年1月6日6:53・7:40)



# 各消防署などで作成した予防救急グッズ



マグネット



エコバック



うちわ

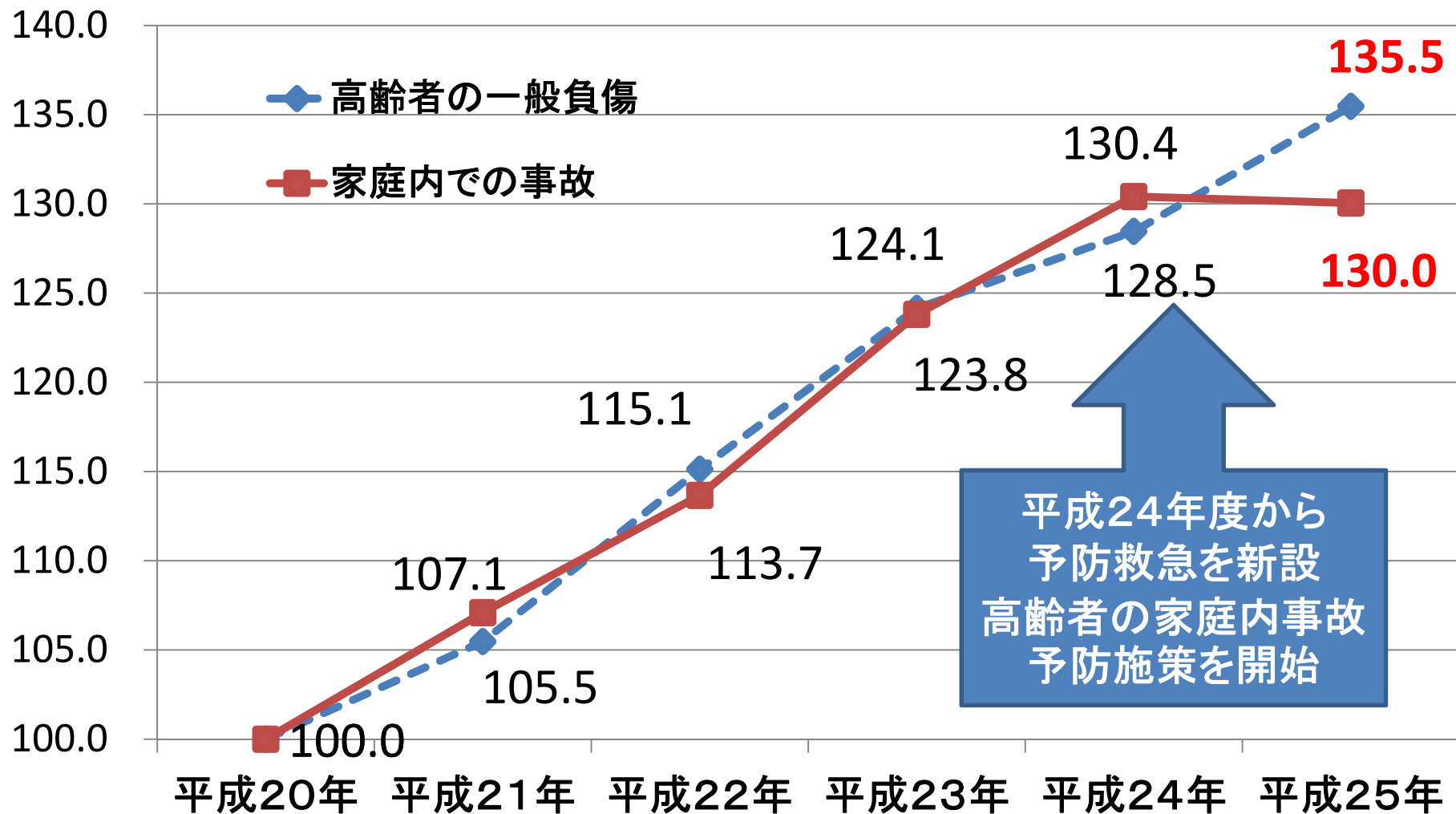


ティッシュ



# 予防救急の効果（高齢者）

（平成20年を100として）



# 今後の展望



- 予防救急という概念の浸透を目指す  
(応急手当普及と同時に学校教育などへ)
- 高齢者への積極的広報  
(社会福祉協議会、老人クラブ連合会などと協力)
- HPやメディアへの情報の配信  
(素材の作成など)
- 住宅・建材などのメーカーに情報発信  
(アカデミックな分析も必要)

## 【結語】

救急事故(家庭内事故など)を未然に防止することで住民の安全が図られ、救急件数の抑制にもつながっていくものと考えられる。